

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

# 波佐ネット通信

No. 226 2023.3.20

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

ほたる湯館G・ゴルフ場

## 能海寛研究会機関誌『石峰』第28号発行

【会員研究】「明治ツォンカパ研究小史」

岡崎 秀紀

(「能海寛のチベット仏教論文を読む」より)

【会員研究】「日僧能海寛来华期间资料蒐集及涉阅情况的初步考察」

何 大勇

【会員研究】「能海筆写『白骨の御文』の英訳文」

岡崎 秀紀

【会員研究】「ダライ・ラマ」に近づいた日々(1899年7月・リタン)

万代 剛

【特別寄稿】整えた「能海空の式」その後

植田 義法

【遺稿】「手帳記録」① ② ③ ④

能海 寛

【遺稿】「明治26年帰国道中日記」／報恩講巡回日記／東上日記

能海 寛

【遺稿】「阿里能まん満雲枕」

能海 寛

◆『能海寛著作集』／機関誌『石峰』表紙写真

◆ 能海寛のふるさと図書

◆ 年次大会／定例学習会報告

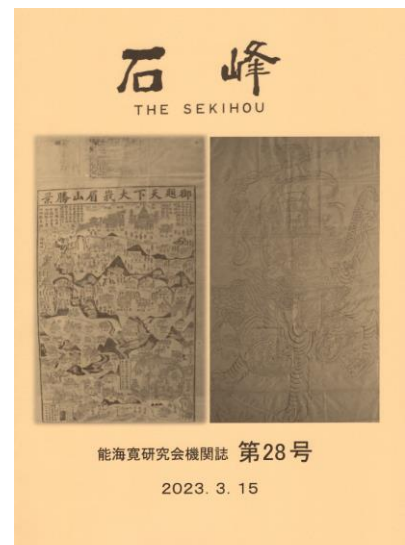
◆ 石見地域研究センターの開設

※ 発行日：令和5年3月15日・能海寛研究会刊

### 能海寛の将来品の木版摺「峨眉山勝景」と「毘沙門天と虎」

表紙写真の木版摺「峨眉山勝景」と「毘沙門天と虎」は、能海寛が明治32年4月28日から30日まで、峨眉山へ登頂し、金殿、普賢明殿など参詣した際に入手したものである。中国三大霊山の一つ「峨眉山は、平生頂を見ることを得ず、常に雲が掛かる」と能海が記述している。標高は3,099mで、26の寺院がある。峨眉山全景と各寺院が描かれている。

「毘沙門天と虎」は、北方を守護する武神。四天主の一将として祀られるときは「多聞天」。一尊だと「毘沙門天」と呼ばれる。虎は仏法守護、福德施与のため一晩で千里の道を走り回り、毘沙門天のお使いと言われている。



## 能海寛手植えのハクモクレン

能海寛が結婚記念に植樹した「ハクモクレン」が今年も沢山花芽を付けています。今年は例年より1~2週早く開花する見込みです。見ごろは3月下旬から4月上旬の一週間ぐらいと予測されます。

樹齢126年の浜田市指定天然記念物です。明治31年6月に結婚記念樹として能海寛が植樹したものです。

ハクモクレン周辺の環境が整備されており、樹木全景と浄蓮寺との写真が撮影し易くなりました。

